

仕事分かる」)を除けば、領域内での課題の並び順が同一であることから、『作業』並びに『職業に関する知識』の領域と同様、全体としてどの順番で課題達成が求められているかについての意見は一致しているといえよう。

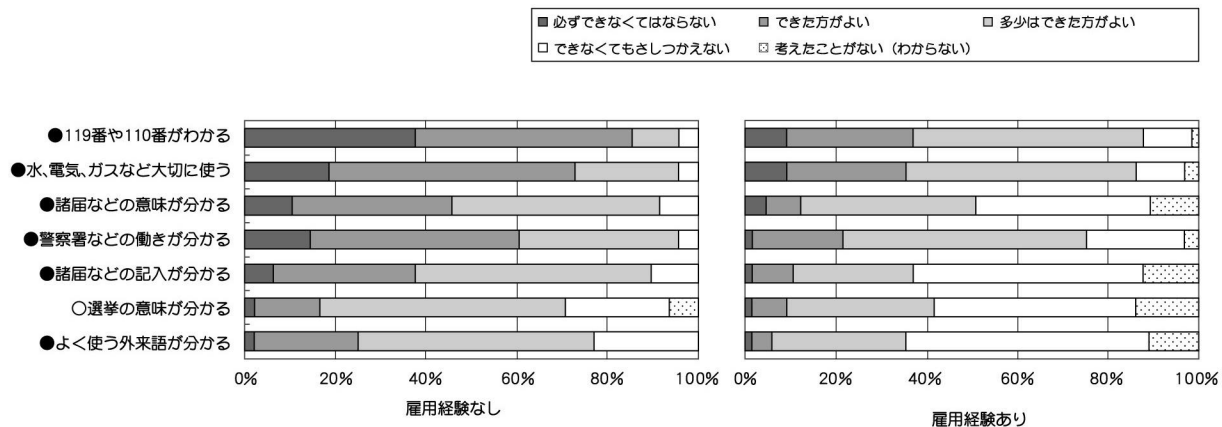


図2-5 雇用経験の有無別にみた『一般的な知識』についての回答

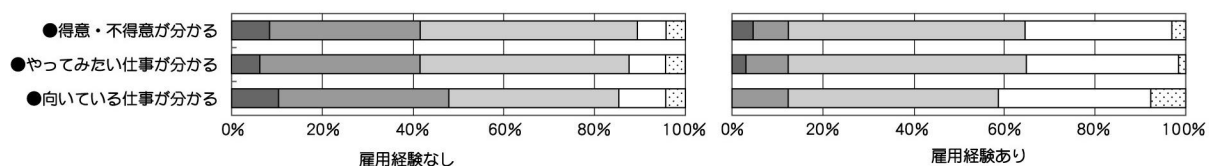


図2-6 雇用経験の有無別にみた『特徴』についての回答

これに対し、『協調性』(図2-7)並びに『意思の表示』(図2-8)の2領域に関しては回答傾向に有意差が認められただけでなく、領域内での課題の並び順も異なっていた。

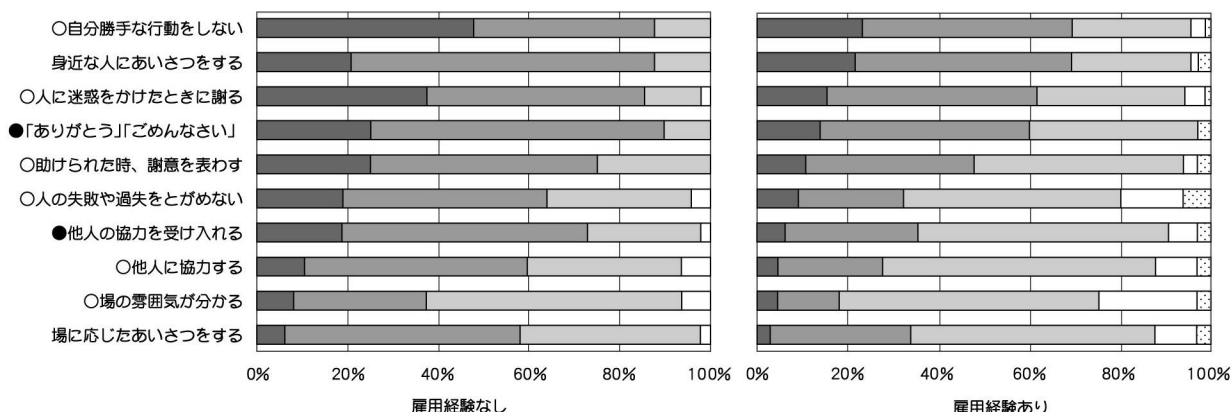


図2-7 雇用経験の有無別にみた『協調性』についての回答

まず『協調性』についてみると、雇用経験のある事業所で一般就労に際して最も「できなくてはならない」と評価された課題は「自分勝手な行動はしない」であり、続いて「身近な人に挨拶をすること」であった。これに対し、雇用経験のない事業所では「自分勝手な行動はしない」が最も